

FOR IMMEDIATE RELEASE

エクイスエナジー、福島県にて新たに 29.5 MW 太陽光発電所の商業運転開始

(2017 年 8 月 2 日)

アジア太平洋地域最大の独立発電事業者 (IPP) であるエクイスエナジーは、福島県二本松市にて新たに出力 29.5MW の太陽光発電所を商業運転開始しました。

エクイスエナジーは、日本国内に総計 0.9GW にのぼる 40 件の案件を保持しており、この他にも総容量 1.3GW 分の案件を現在開発中です。東京本社をはじめとし、青森県七戸町、福島県福島市、茨城県笠間市に事業所を構え、開発、設計、プロジェクト管理に精通している技術者や投資のプロフェッショナルによるスタッフを 60 名以上雇用しています。

エクイスエナジーの日本代表であるアダム・バリーンは、次のように述べています。

「日本のエネルギーミックスに対する太陽光の比率は過去 2 年間で劇的に上昇し、今後も急速な成長続くと見込まれます。今回、新たに二本松太陽光発電所を稼働することにより、より安価でクリーンな電力を提供できるだけでなく、弊社事業を通じて現地での雇用も生み出すことができます。」

今回商業運転を開始した二本松太陽光発電所では、年間計 33,925MWh を発電します。これは、年間 6,431 世帯に供給可能な発電量に相当し、18,693 トンの CO2 削減、3,200 万リットルの節水効果をもたらします。

本プレスリリースに関してのお問い合わせはこちらまで:

畦地 麻子(あぜち あさこ)

jp-enquiries@equisenergy.com